

ウォーキング・トレイル「はにわロード」

「ウォーキング・トレイル事業」は、歩くことを通じ健康・福祉活動を支援し、魅力ある地域づくりを図ることを目的とし、ゆとりとおいしい実感できる歩行空間を整備するものである。

松江市は『はにわロード』と称し、出雲風土記に登場する八重垣（やえがき）神社から田園風景を望み、古墳・横穴群を巡り、出雲国造館跡、国宝の神魂（かもす）神社を結ぶ散策道を整備した。

沿道には周辺の景観に配慮し、自然石を施した茶系の舗装、地元産の石を使った石積・ベンチ、そしてたくさんの植栽を施した。また、『木の美の広場』と出雲風土記時代の島根半島の地勢をテーマとした『入海（いりうみ）の広場』を整備した。沿道には「はにわ」の模型を数多く配置し、来訪者をあたたかく出迎えてくれる。

完成後には地元の協力もあり、官民一体となって草取り・清掃など日常管理を行い、美化に努めている。

「はにわロード」では、地元を中心に散策、遠足、また様々なイベントが行われ、観光拠点を結んだことによりたくさんの観光客も訪れている。



所在地	島根県松江市佐草町～大庭町
関係する施設など	八重垣神社、神魂神社、出雲風土記の丘、出雲かんべの里
イベント	市民健康ウォーク